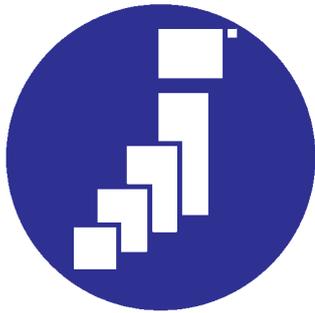


平成24年情報通信業基本調査票⑤

(情報サービス業用)

(平成24年3月31日現在)



政府統計

- ☆ この調査は、統計法（平成19年法律第53号）に基づく一般統計調査です。
- ☆ この調査票は、統計を作成するために使われるもので、**報告者に利害関係を生じるような目的に使用されることはありません。**ありのままの姿を記入してください。
- ☆ 調査票の記入に当たっては、別冊の「**調査票の記入手引**」に従って、黒または青のボールペンではっきりと記入してください。
なお、数値は、必ず調査票に定めた単位で記入してください。
- ☆ 調査の期日は平成24年3月31日現在です。記入内容は**平成23年度の決算期数値**で記入してください。それが**困難な場合は、最寄りの決算期の数値**によって記入してください。
なお、決算期変更の場合は、「調査票の記入手引」を参照してください。
- ☆ 調査票は、**平成24年7月15日までに提出**してください。

1 企業の概要

(1) 企業の名称	(フリガナ)	電話番号 (代表)
(2) 本社又は本店の所在地 「実際の本社機能を有する場所」	郵便番号 () 都道府県 市区郡 丁目 番 号 番地	

見本

記入者の氏名	(フリガナ)
本票の記入内容の照会に回答される人(記入者)の所属部署及び所在地	所属部署
	電話 () 局 番 (内線) 番 連絡先所在地 (本社・本店の所在地と異なる場合のみ記入してください。)
備考欄 (記入内容について、特記すべき事項があれば記入してください。)	

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

↑このマークを目印に三つ折りしてください。↓

2 売上高

貴社における情報サービス業に係る売上高について、該当する番号に○を付けてください。

2001 1. 国内のみ 2. 国内及び海外 3. 海外のみ

(注) 2. 又は3. を選択した場合は、「うち、海外の割合」も記入してください。

貴社における情報サービス業に係る売上高、海外への売上高の割合（整数）を記入してください。

区 分	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	うち、海外の割合
受託開発ソフトウェア業									%
組込みソフトウェア業									%
パッケージソフトウェア業									%
ゲームソフトウェア業									%
情報処理サービス業									%
情報提供サービス業									%
その他の情報サービス業									%
平成23年度情報サービス業の売上高合計									

(注1) 不特定多数のユーザーを対象とするソフトウェアを受託して作成した場合においては、「受託開発ソフトウェア業」には含まず、「パッケージソフトウェア業」又は「ゲームソフトウェア業」に含めてください。

(注2) プログラム作成を含むホームページの制作受注は、「受託開発ソフトウェア業」に含めてください。

(注3) ソフトウェアの開発から一貫して行うASP、SaaSは、「情報処理サービス業」に含めてください。

3 営業費用

情報サービス業における自社の製品・サービスに係る広告宣伝費の金額と、内訳の割合（整数）を記入してください。

<平成23年度>

費 目	2001	千億	百億	十億	億	千万	百万円
情報サービス業における自社の製品・サービスに係る広告宣伝費							

情報サービス業における自社の製品・サービスに係る「広告宣伝費」を100%として、割合を記入してください。

<平成23年度>

内訳の割合	3002	販売促進費 (インターネット 中心)	メディア 広告費 うち、 テレビCM	うち、 新聞・雑誌	うち、 ネット広告	うち、 交通広告	うち、 屋外広告	その他
	%	%	%	%	%	%	%	%

(注) 「販売促進費」+「メディア広告費」+「その他」の合計は、100%になります。

4 認証取得への取組み状況

認証取得について、該当するものに○を付けてください。（すべての項目についてお答えください。）

<平成23年度末現在>

	4001	4002	4003	4004	4005	4006	既に取得している	検討・計画している	必要性を感じるが、未実施	必要性を感じず、未実施	以前は取得していたが、現在は取得していない
プライバシーマーク											
ISO9001 (品質)											
ISO20000 (ITサービスマネジメント)											
ISO27001、ISMS (情報セキュリティ)											
CMMI (能力成熟度モデル統合)											
BS25999 (事業継続)											

(注1) プライバシーマークとは、事業者が個人情報を基準に沿って適切に取り扱っているかを評価し、適正と判断した事業者を認定する制度をいいます。

(注2) ISO9001とは、製品やサービスの品質保証を通じて顧客満足の向上をめざす品質マネジメントシステム規格をいいます。

(注3) ISO20000とは、高品質なITサービスの提供を通じて組織の価値向上を可能にするITサービスマネジメントシステム規格をいいます。

(注4) ISO27001とは、情報の機密性、完全性、可用性を継続的に確保、維持するための情報セキュリティマネジメントシステム規格をいいます。

ISMSとは、情報セキュリティマネジメントシステム (Information Security Management System) 適合性評価制度をいいます。

(注5) CMMI (能力成熟度モデル統合)とは、組織のプロセス能力向上のためのモデル (Capability Maturity Model Integration) をいいます。

(注6) BS25999とは、事業の存続を脅かすリスクに対し、組織の価値向上を可能にする事業継続マネジメントシステムの標準規格をいいます。

5 開発・制作部門の状況

○ 貴社は開発・制作の事業を行っていますか。該当する番号に○を付けてください。

5001 1. 行っている 2. 行っていない → 設問は以上です。ご協力ありがとうございました。
 (1)～(8)についてご記入ください。

(1) 外部委託の状況

① 開発・制作に係る業務委託について、該当する番号に○を付けてください。

5101 1. 平成23年度内に外部の企業に委託した ⇒ ②、③を記入
 2. 委託は行わなかった ⇒ (2)へ

(注) 開発・制作に係る業務を一部でも委託した場合は、「外部の企業に委託した」に該当します。

② 貴社が、外部の企業に開発・制作を委託した金額を記入してください。

<平成23年度>

科 目		外部委託金額											
								うち、関係会社					
		千億	百億	十億	億	千万	百万円	千億	百億	十億	億	千万	百万円
開発・制作の外部委託	5102												
うち、国内	5103												
うち、海外	5104												
うち、アジア													
うち、中国													
うち、インド													
うち、ベトナム													
うち、フィリピン	5110												
うち、米国	5110												

(注) 「関係会社」とは、子会社、関連会社及び親会社をいいます。

③ 外部委託したプロジェクト件数、製品数、コンテンツ数、並びに売上払いの割合（整数）を記入してください。

<平成23年度>

		本数、件数	
			うち、売上払いの割合
外部委託したプロジェクト件数、製品数、コンテンツ数	5111		%

(注) 「売上払い」とは、発注元があげた売上高や利益に連動した支払い方法をいい、固定払いや定額での買い取りとは異なります。

(2) 受託の状況

① 開発・制作に係る受託（元請け、下請け）について、該当する番号に○を付けてください。

- 5201 1. 平成23年度内に外部の企業から受託（元請け、下請け）した ⇒ ②、③ を記入
 2. 受託（元請け、下請け）は行わなかった ⇒ (3) へ

(注) 開発・制作に係る業務を一部でも受託した場合は、「外部の企業から受託（元請け、下請け）した」に該当します。

② 開発・制作を受託（元請け、下請け）した金額を記入してください。

<平成23年度>

科 目		外部からの受託金額						うち、関係会社					
		千億	百億	十億	億	千万	百万円	千億	百億	十億	億	千万	百万円
		開発・制作の受託	5202										
うち、国内からの受託	5203												
うち、海外からの受託	5204												
うち、米国	5205												
うち、欧州（EU）	5206												
うち、アジア	5207												
うち、中国	5208												
うち、韓国	5209												
うち、台湾	5210												
うち、インド	5211												

(注) 「関係会社」とは、子会社、関連会社及び親会社をいいます。

③ 貴社が受託した上記②の金額について、元請け、下請けの割合（％）を記入してください。

<平成23年度>

		元請け として受託	一次下請け として受託	二次下請け として受託	三次以降の下請け として受託
元請け、下請けの割合	5212	%	%	%	%

見本

(3) 従業員の状況

① 貴社が行っている開発・制作部門に係る従業員数を記入してください。また、平成23年度における正社員・正職員の採用者数・新卒者数・退職者数と、契約社員の契約者数・新卒者数・契約解除者数を記入してください。

(単位：人)

開発・制作部門（外国人を含む）		従業員数 (平成23年度末現在)	採用者数・契約者数		退職者数・ 契約解除者数 (平成23年度)
			(平成23年度)	うち、新卒者数	
常時従業員数（臨時・日雇雇用者を除く）	5301				
うち、正社員・正職員（他企業等への出向者を除く）	5302				
うち、パートタイム従業員	5303				
うち、他企業等への出向者	5304				
うち、契約社員（フリーランサーを含む）	5305				
臨時・日雇雇用者	5306				
(受入れ) 派遣従業員	5307				

(注1) 「常時従業員数」には、有給役員、常用雇用者（正社員、正職員、パート、アルバイト、嘱託、契約社員等の呼称にかかわらず1か月を超える雇用契約者及び当該年度末の前2か月においてそれぞれ18日以上雇用した者）の数を記入してください。

(注2) 「正社員・正職員」には、常時従業員のうち、一般に正社員・正職員などと呼ばれている人の数を記入してください。

(注3) 「パートタイム従業員」には、常時従業員のうち、正社員・正職員より1日の所定労働時間または1週間の労働日数が短い人の数を記入してください。

(注4) 「他企業等への出向者」には、主として貴社で給与を支払っている子会社、関連会社などへの出向者の数を記入してください。

(注5) 「契約社員」とは、有期の期間での雇用契約を結んで職務に従事する常勤労働者をいいます。パートタイム従業員は含みません。「フリーランサー」とは、会社に所属したり特定の会社と専属契約を結ばず、仕事の依頼の都度契約を結ぶという形態をとっている者をいいます。

(注6) 「臨時・日雇雇用者」とは、1か月以内の期間を定めて雇用している者及び日々雇入れている者をいいます。

(注7) 「(受入れ) 派遣従業員」とは、労働者派遣事業を営む事業主が雇用する従業員であって、当該雇用関係のまま貴社と当該労働者派遣事業主との契約の下に、貴社の指揮命令を受けて、貴社の業務に従事させている従業員をいいます。

② 開発・制作部門に係る①の正社員・正職員、契約社員のうち、外国人について内訳を記入してください。

(単位：人)

開発・制作部門（外国人のみ）		従業員数 (平成23年度末現在)	採用者数・契約者数 (平成23年度)	退職者数・契約解除者数 (平成23年度)
外国人正社員・正職員	5301			
うち、アジア	5302			
うち、中国	5310			
うち、インド	5311			
うち、ベトナム	5312			
うち、フィリピン	5313			
うち、米国	5314			
外国人契約社員（フリーランサーを含む）	5315			
うち、アジア	5316			
うち、中国	5317			
うち、インド	5318			
うち、ベトナム	5319			
うち、フィリピン	5320			
うち、米国	5321			

(4) 技術者の給与制度

開発・制作部門の技術者の給与制度について、該当する番号に○を付けてください。

5401

正社員・正職員

1. 年功制のみ
2. 主として年功制（一部成果連動）
3. 主として成果連動制（一部年功）
4. 成果連動制のみ

5402

契約社員（フリーランサーを含む）

1. 年功制のみ
2. 主として年功制（一部成果連動）
3. 主として成果連動制（一部年功）
4. 成果連動制のみ

(注) 「技術者」とは、システムエンジニア、プログラマ、研究員をいいます。

(5) 技術者の給与（年収）の状況

開発・制作部門の技術者のうち、年齢が35歳の人の状況について記入してください。35歳の人がないときは、近い年齢層について記入してください。

① 平均年収を記入してください。

<平成23年>

35歳技術者の平均年収		千万	百万	十万	万円
正社員・正職員	5501				
契約社員（フリーランサーを含む）	5502				

② 一番給与の高い人は上記平均の何倍くらいでしょうか。おおよその値を選択肢から選び、該当する番号に○を付けてください。

5503 正社員・正職員

1. 1.5倍以下
2. 1.5倍超～2倍以下
3. 2倍超～3倍以下
4. 3倍超～4倍以下
5. 4倍超

5504 契約社員（フリーランサーを含む）

1. 1.5倍以下
2. 1.5倍超～2倍以下
3. 2倍超～3倍以下
4. 3倍超～4倍以下
5. 4倍超

(6) 人材育成

① 開発・制作部門の人材育成について、該当する番号に○を付けてください。（複数回答）

5601

1. OJT（業務を通じた指導・育成）
2. 社内研修を実施
3. 社外研修会、大学・専門学校等を利用（通学支援を含む）
4. 情報処理技術者試験への受験の補助、資格手当の実施
5. 民間の各種情報処理試験への受験の補助、資格手当の実施
6. その他の方法で実施
7. 実施していない

② 技術者等の育成・評価に、次の指標を活用していますか。該当する番号に○を付けてください。（すべての項目についてお答えください。）

5602

ITスキル標準（ITSS）

1. 活用している
2. 活用していない

5603

組込みスキル標準（ETSS）

1. 活用している
2. 活用していない

5604

情報システムユーザースキル標準（UISS）

1. 活用している
2. 活用していない

見本

(7) 事業運営の状況

開発・制作に関する事業運営について、貴社の考えに近いものを選び、該当する番号に○を付けてください。

① 現在、産学連携を行っていますか。また、今後の方針はいかがですか。
(例：大学等との共同開発、共同制作、研究受委託等)

5701

1. 行っており、今後拡大傾向
2. 行っており、今後も現状維持
3. 行っており、今後縮小傾向（撤退含む）
4. 行っていないが、今後新規に行う予定
5. 行っていないが、検討中
6. 行っておらず、今後も予定なし

② 現在、大学等を活用して自社の社員教育を行っていますか。また、今後の方針はいかがですか。
(例：リカレント教育（大学等での再教育・学習）、大学の教員を招聘した社員研修の実施等）

5702

1. 行っており、今後拡大傾向
2. 行っており、今後も現状維持
3. 行っており、今後縮小傾向（撤退含む）
4. 行っていないが、今後新規に行う予定
5. 行っていないが、検討中
6. 行っておらず、今後も予定なし

③ 現在、自社において大学教育に対して何らかの協力を行っていますか。また、今後の方針はいかがですか。
(例：学生・教員のインターンシップ受入れ、派遣等)

5703

1. 行っており、今後拡大傾向
2. 行っており、今後も現状維持
3. 行っており、今後縮小傾向（撤退含む）
4. 行っていないが、今後新規に行う予定
5. 行っていないが、検討中
6. 行っておらず、今後も予定なし

見本

④ 現在、海外への事業展開（製品の販売を含む）を行っていますか。また、今後の方針はいかがですか。

5704

1. 行っており、今後拡大傾向
2. 行っており、今後も現状維持
3. 行っており、今後縮小傾向（撤退含む）
4. 行っていないが、今後新規に行う予定
5. 行っていないが、検討中
6. 行っておらず、今後も予定なし

⑤ 現在、海外への外部委託を行っていますか。また、今後の方針はいかがですか。

5705

1. 行っており、今後拡大傾向
2. 行っており、今後も現状維持
3. 行っており、今後縮小傾向（撤退含む）
4. 行っていないが、今後新規に行う予定
5. 行っていないが、検討中
6. 行っておらず、今後も予定なし

(8) ゲームソフトウェア開発の状況

○ 貴社はゲームソフトウェア開発の事業を行っていますか。該当する番号に○を付けてください。

5801 1. 行っている 2. 行っていない → 設問は以上です。ご協力ありがとうございました。
①～④についてご記入ください。

① 平成23年度に自社開発したゲームのコンテンツ数・作品数を記入してください。

<平成23年度>

		コンテンツ数・作品数
ゲーム開発数	5802	本

② 上記①の自社開発したゲームについて、平成24年3月31日現在の権利比率別保有状況を記入してください。

<平成23年度末現在>

権利比率		一次利用に関する権利	二次利用に関する権利
100%保有	5803	本	本
50%以上～100%未満	5804	本	本
0%超～50%未満	5805	本	本
0% (権利保有無し)	5806	本	本

(注) ゲームの「二次利用」には、キャラクター・グッズの商品化、アニメ化、出版化などがあります。

③ ゲーム開発に関するドキュメント化・データベース化を行っていますか。該当する番号に○を付けてください。

5807 1. 進めている 2. どちらかといえば進めている 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば進めていない 5. 進めていない

④ 過去に作成したドキュメントやデータベースを利用していますか。該当する番号に○を付けてください。

5808 1. 利用している 2. どちらかといえば利用している 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば利用していない 5. 利用していない

見本